

第39回 長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

平成27年10月 発行

特別調査 中小企業が地域金融機関に望むこと

長岡信用金庫 総合企画部

TEL (0258) 36-4344

<http://www.nagaoka-shinkin.com/>

【実績】平成27年 4月～平成27年 9月

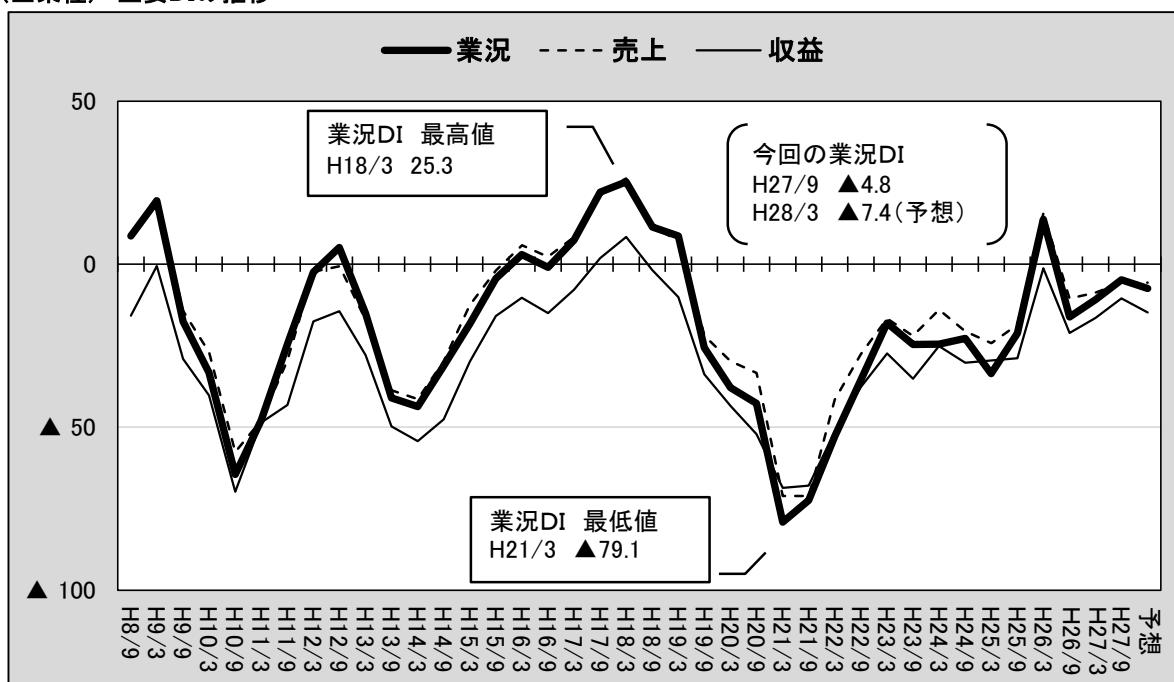
【予想】平成27年10月～平成28年 3月

**全業種で業況DIが改善。
製造業は、業況、売上ともに26年9月からプラス水準を維持。**

(全業種) 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 10.9	6.1 (改善)	▲ 4.8	-2.6 (悪化)	▲ 7.4
売上	▲ 8.7	3.0 (改善)	▲ 5.7	0.0 (横這)	▲ 5.7
仕入価格	45.4	-19.9 (改善)	25.6	-4.8 (改善)	20.7
販売価格	5.3	-4.4 (悪化)	0.9	0.0 (横這)	0.9
収益	▲ 16.5	6.0 (改善)	▲ 10.5	-4.3 (悪化)	▲ 14.8
在庫	8.2	-2.9 (改善)	5.3	-1.0 (横這)	4.3
受注残高	▲ 4.8	6.7 (改善)	2.0	-3.9 (悪化)	▲ 1.9
資金繰り	▲ 7.8	2.6 (改善)	▲ 5.2	-3.5 (悪化)	▲ 8.7
人手	▲ 15.2	-10.0 (悪化)	▲ 25.2	-3.5 (悪化)	▲ 28.7
設備状況	▲ 4.8	-7.4 (悪化)	▲ 12.2	2.1 (改善)	▲ 10.0

(全業種) 主要DIの推移



(業種別) 前回、今回、予想の比較

(製造業)

・業況、収益は改善。業況、売上ともに26年9月からプラス水準を維持。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	4.5	4.5 (改善)	9.0	-7.9 (悪化)	1.1
売上	5.6	-1.1 (悪化)	4.5	-12.4 (悪化)	▲ 7.9
収益	▲ 13.5	7.8 (改善)	▲ 5.7	-7.9 (悪化)	▲ 13.6

(建設業)

・業況、収益は改善。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 7.5	5.6 (改善)	▲ 1.9	-3.8 (悪化)	▲ 5.7
売上	▲ 5.7	-7.5 (悪化)	▲ 13.2	9.4 (改善)	▲ 3.8
収益	▲ 13.2	5.5 (改善)	▲ 7.7	-7.4 (悪化)	▲ 15.1

(卸売業)

・業況、売上は改善するも、収益は悪化。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 26.3	15.8 (改善)	▲ 10.5	-21.1 (悪化)	▲ 31.6
売上	▲ 15.8	10.5 (改善)	▲ 5.3	-26.3 (悪化)	▲ 31.6
収益	▲ 10.5	-5.3 (悪化)	▲ 15.8	-21.0 (悪化)	▲ 36.8

(小売業)

・業況、売上、収益ともに改善。

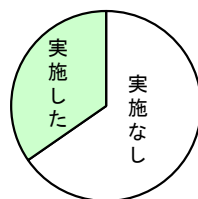
	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 37.9	3.4 (改善)	▲ 34.5	37.9 (改善)	3.4
売上	▲ 34.5	10.4 (改善)	▲ 24.1	31.0 (改善)	6.9
収益	▲ 34.5	17.3 (改善)	▲ 17.2	13.8 (改善)	▲ 3.4

(その他)

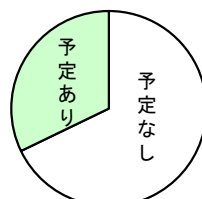
・業況、売上は改善。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 22.5	7.5 (改善)	▲ 15.0	-10.0 (悪化)	▲ 25.0
売上	▲ 22.5	17.5 (改善)	▲ 5.0	5.0 (改善)	0.0
収益	▲ 17.5	0.0 (横這)	▲ 17.5	2.5 (改善)	▲ 15.0

(全業種) 設備投資の実施と予定

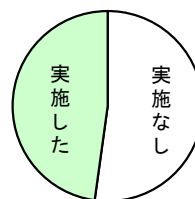


実施した
34.6%

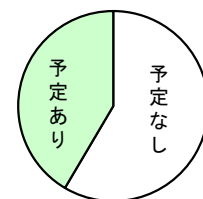


予定あり
32.2%

(全業種) 借入の実施と予定



実施した
47.8%



予定あり
41.5%

(業種別) 経営上の問題点について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	18.0%	12.4%	18.7%	16.4%	22.1%	27.6%
人手不足			15.8%			10.2%
同業者間の競争激化	10.6%		12.9%	18.2%	18.2%	10.2%
利幅の縮小	11.4%	12.4%			11.7%	11.2%
材料価格の上昇		10.6%				
販売先からの値下げ要請				12.7%		

(業種別) 当面の重点施策について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	20.7%	16.4%	21.7%	30.8%	27.1%	19.4%
経費を削減する	19.2%	16.4%	19.4%	20.0%	23.4%	21.4%
情報力を強化する					9.1%	18.4%
人材を確保する	15.0%		20.9%	9.1%		
技術力を強化する		19.9%				

(業種別) 調査員のコメント

(製造業)

- ・売上は安定推移。同業者間の競争厳しくなっている。販路の開拓、新製品開発により売上増加を図る。
- ・東京五輪関連及び地域再開発に伴い活況に推移。受注単価も上昇しており、当面は活況に推移していく見通し。
- ・技大と連携し、新技術の研究開発に前向きに取り組んでいる。
- ・売上横這い推移の見通し。現有設備の生産能力に限界があり、将来的には補助金等を利用した設備投資を検討している。
- ・インターネット業者で半額～10分の1などの低い単価でしているところがあり、脅威を感じている。
- ・自動車関連、スマホ関連の受注回復を受け、売上は増加。外注先確保が課題。
- ・従業員の高齢化に伴い今後の従業員不足が見込まれる。
- ・中国経済減速に伴い、主要取引先の受注減。
- ・仕事はあるが納期が短く残業で対応。人手不足で募集しても集まらない。従業員の技術力を上げていきたい。

(建設業)

- ・今期は住宅新築、アパート新築等受注は好調。来年も消費増税前の駆け込み需要が期待できる。
- ・関東、関西の店舗改装を中心に受注増加。
- ・他社との競争激化していくなかで、差別化、工事完了後のアフターフォローの充実が課題。
- ・市のリフォーム補助金の影響もあり、受注はリフォーム中心になってきている。
- ・今後の受注は堅調な見通しだが、人手不足が懸念される。
- ・従業員の高齢化に加え、若年層の退職者も多く、技術伝承が十分に出来ない。
- ・災害関連工事もあったことより受注は順調に推移している。人材不足であるが、慎重に対応。

(卸売業・小売業)

- ・市のプレミアム商品券発行の効果も有り売上増加。ネット販売も好調であり、業況は良好推移中。
- ・駐車場用地確保、後継者とのバトンタッチのタイミングが現状の課題となっている。商品開発や販促活動にも積極的に取り組んでいる。
- ・百貨店、バイヤーへの販売は商品品質、製造・加工体制、管理体制までチェックが厳しい。助成金・補助金を利用した機械設備、展示会出展などに注力。
- ・補助金、助成金絡みの大口受注も一段落し、期末に向け受注確保と収益維持に向け営業強化を図っている。
- ・大型量販店との競合により販売価格、収益面では厳しい状況が続いている。
- ・消費税増税前の駆け込み需要反動から一時期売上げ落ち込んだが、現在は回復してきている。

特別調査 中小企業が地域金融機関に望むこと

問1

貴社の社長（代表者）の年齢について、次の1～5の中から1つ選んでお答えください。
また、貴社の業歴について、次の6～0の中から1つ選んでお答えください。

社長(代表者)の年齢		貴社の業歴	
1. 20歳台、30歳代	4.8%	6. 10年未満	2.2%
2. 40歳代	22.6%	7. 10年以上～20年未満	3.5%
3. 50歳代	22.6%	8. 20年以上～30年未満	7.0%
4. 60歳代	36.5%	9. 30年以上～40年未満	20.2%
5. 70歳代以上	13.5%	0. 40年以上	67.1%

問2

貴社におけるメインバンクについて、次の1～6の中から1つ選んでお答えください。
また、メインバンクとの取引期間について、次の7～0の中から1つ選んでお答えください。

メインバンク		メインバンクとの取引期間	
1. 長岡信用金庫	70.7%	7. 5年未満	0.4%
2. 他の信用金庫	0.0%	8. 5年以上～10年未満	2.7%
3. 都市銀行	0.9%	9. 10年以上～20年未満	10.3%
4. 地銀・第二地銀	26.2%	0. 20年以上	86.5%
5. 信組・農協・その他	1.7%		
6. 政府系金融機関	0.4%		

問3

地域金融機関の体制面で望むことについて、次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

1. 担当者の訪問回数の増加	4.6%	7. 金融機関の本部専担者・外部専門家に よる支援	10.8%
2. 担当者訪問時の滞在時間の延長	0.3%	8. 要望に対する迅速な対応	28.6%
3. 担当者交代時の丁寧な引継ぎ	13.4%	9. その他()	2.3%
4. 担当者の頻繁な人事異動がないこと	24.5%	0. 特に期待していない	8.8%
5. 支店窓口での相談機能の強化	4.9%		
6. インターネットバンキング等の非対面 チャネル充実	1.8%		

問4

地域金融機関にどのような金融取引以外の支援サービスを期待しますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

1. 事業計画、経営戦略の策定支援	11.8%	7. 海外展開支援	0.5%
2. 財務診断アドバイス	11.8%	8. 1～7.以外の経営に関する情報提供 ()	3.0%
3. ビジネスマッチング等販路拡大支援	17.6%	9. その他()	1.5%
4. 補助金、助成金の紹介・相談	29.9%	0. 特に期待していない	12.3%
5. 事業継承、M&A支援等	9.3%		
6. 研究開発のための専門機関紹介	2.3%		

問5

長岡信用金庫による貴社への訪問頻度に関し、最もあてはまるものを次の1～3の中から1つ選んでお答えください。また、その他の主な取引金融機関による訪問頻度に関し、最もあてはまるものを次の4～7の中から1つ選んでお答えください。

長岡信用金庫の訪問頻度		その他の主な取引金融機関の訪問頻度	
1. 多すぎる	0.0%	4. 多すぎる	1.8%
2. 満足している	95.7%	5. 満足している	69.5%
3. 少なすぎる	4.3%	6. 少なすぎる	17.3%
		7. 本調査担当信用金庫以外取引なし	11.4%

調査要領

調査時点：平成27年9月
調査方法：当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査
対象期間：【実績】平成27年4月～平成27年9月 【予想】平成27年10月～平成28年3月
調査地域：当金庫営業地域【長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市】
調査先：230先(回収率100%)
分析方法：各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自信の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。